

2010年
12月1日
No.106

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-522-7868



金融ユニオン第2回中央執行委員会開催 春闘に向けたアンケートによる対話活動の強化を

11月27日、金融ユニオン第2回中央執行委員会が、金融労連本部会議室において開催されました。さざなみネットから、山崎さんが参加しました。

(議題)

・秋季年末闘争について

下期臨給回答・職場改善要求・来春闘に向けた「職場と生活アンケート」による対話活動状況について交流し、取り組みを強めることを決めました。

・2011年春闘方針について

金融労連春闘方針(案)や春闘要求基準(案)に基づき、意見を交換しました。1月に中央委員会を開き、さらに討議をすすめます。

・AIGスター生命のたたかいについて

AIGスター生命の発行済み全株式が、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクに譲渡されることで合意に達しています。正念場になっています。交渉を強めていくことを確認しました。

・機関紙「金融ユニオン」について

12月・新年号の編集について相談しました。



職場に広がる心の病 パワハラを根絶するための運動を強めよう

金融機関で働く仲間の心が、増大するストレスによって蝕まれています。そのことは、増加する不祥事件やメンタルヘルス不全という形で表れています。

金融機関では、高い精度が求められる仕事にもかかわらず、働きすぎの状態です。多様化する業務に対応するため、さまざまな資格が求められるうえに、成果主義賃金により目先の業績が求められています。

厚生労働省の労働者健康状況調査でも、金融機関の労働者で「仕事に関する強い不安・悩み・ストレスがある」と回答した割合は63.3%にもなっています。

WHOの調査では、うつ病の有病率は人口の3~5%

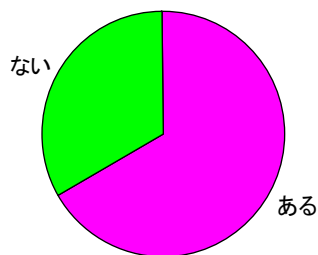
としていますが、金融機関では「表面化している人も含めると10%を超えている」と言われています。

国や業界では、メンタルヘルス対策を重視して取り組みを開始しています。

心の病の最大の要因であるパワハラを本気で根絶するため、労働安全衛生運動を強め、メンタルヘルスケアの充実などすべての労働者の働く条件整備の取り組みが求められています。

—金融労連2011年春闘方針(案)から—

仕事に関する
強い不安・悩み・ストレス



職場の指

「資格試験に受からなければ
やめてもらわな、しょうがない」

上司から「証券の資格試験が受からなければ、やめてもらわな、しょうがない」と再三言われています。

仕事はなかなか終わらない、家事も忙しく、毎日ぐたぐた、勉強をする時間もなかなかなく、気も起きません。

勝手に申し込まれ、試験に行かないと怒られるし、結果が悪いとまた何かと言われます。

給料は半分 仕事は忙しく

専任行員になりました。給料は半分くらいになりましたが、小さい店に転勤し、仕事は何もかも、今まで以上に忙しい、たいへんです。



岩波美智子さん 画